

2-2 学生の入学・定員・卒業数、進路

2-2-1 入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

環太平洋大学は、建学の精神に則り、学位授与に要求される能力を身につけた人材を育成するため、以下の資質・能力の獲得に意欲を持つ様々な学生を広く国内外から受け入れます。

- (1) 本学の建学の精神、教育理念、および、教育指針を理解している。
- (2) 現代社会における課題を設定し、他者と協働して学び、目標を達成しようとする意志を有している。
- (3) 専門分野への知識・技能を有し、それをを用いて社会に貢献する意志を持っている。
- (4) 多様性・異文化を理解し、地球市民として交流したいと考えている。
- (5) 本学が提供する入学前教育に最後まで取り組むことができる。

《体育学部の入学者受入れ方針》

体育学部では、豊かな人間性、健康・スポーツ科学に関する専門的知識と実践力等を身に付けた人材を養成することを目的にしている。

■ 入学前に身に付けておく能力

- ①豊かな人間性・教養と課題解決力、②文化としての健康・スポーツの理解に基づくコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力、③国際人としての自覚とアイデンティティーの涵養、④健康・スポーツに関する関心や学習意欲

■ 求める人材

- (1) 入学後の修学に必要な一定レベルの学力を有するとともに、体育学科では特定のスポーツ種目に秀でた技能を持っている人
- (2) 幅広い教養と、健康・スポーツに関する専門的知識、運動技術や柔道整復術の修得に向かって努力する人
- (3) 体育・スポーツ分野の教員もしくは指導者、公務員、企業人、あるいは健康分野の医療人として活躍したいと明確な目的意識を持っている人
- (4) 体育・スポーツや健康について学んだことを糧として、社会の多様な分野でリーダーとして、その発展に貢献しようとする目的意識を持っている人
- (5) 高校での学習において、保健・体育の学びを深め、多くのスポーツ種目を幅広く経験し、体育学科では特定のスポーツ種目の技能を高めている人

■ 選抜の基本方針

体育学科、健康科学科の選抜の基本方針を参照のこと。

体育学部 体育学科

体育学部・体育学科では、ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーを踏まえ、下記の資質・能力を有する者を入学者として選抜します。

- (1) 現代の体育・スポーツにおける課題を設定し、他者と協働して学び、目標を達成しようとする意志を有している。
- (2) 体育・スポーツに関する専門知識・技能を用いて社会に貢献する意志を有している。
- (3) 多様性・異文化を理解し、地球市民として交流する意志を有している。

以上のアドミッションポリシーに基づき、体育学部・体育学科での学修に必要な学力や人間性などを多面的・総合的に評価するため、以下の選抜方法により入学者の選抜を行う。

- ①総合型選抜入試 自己推薦方式では、調査書、自己推薦書、課題レポート、自己PRスピーチ及び面接により基礎的な学力及びこれまでの学習や活動の状況、考える力やコミュニケーション能力、体育・ス

スポーツ界で活躍したいという意欲や姿勢、本学科のアドミッション・ポリシーの理解と明確な志望動機、学びへの熱意や適性を総合的に評価する。

- ②総合型選抜入試 探究活動方式では、調査書、自己推薦書、課題レポート、プレゼンテーション又は絵本の読み聞かせ及び面接により基礎的な学力及びこれまでの学習や活動の状況、考える力やコミュニケーション能力、体育・スポーツ界で活躍したいという意欲や姿勢、本学科のアドミッション・ポリシーの深い理解と明確な志望動機、学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ③総合型選抜入試 スポーツ・芸術方式では、高等学校の調査書の評定平均が3.0以上でかつ、運動・芸術のいずれかに特に優れ、その成果を客観的に証明できる者を対象とする。調査書、自己推薦書、競技・演技実績証明書、課題レポート、自己PRスピーチ及び面接により基礎的な学力及びこれまでの学習や活動の状況、考える力やコミュニケーション能力、競技力・演技力、体育・スポーツ界で活躍したいという意欲や姿勢、本学科のアドミッション・ポリシーの理解と明確な志望動機、学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ④学校推薦型選抜入試 スポーツ・芸術方式では、学校長の推薦が得られ、高等学校の調査書の評定平均が3.0以上でかつ、運動・芸術のいずれかに優れ、その成果を客観的に証明できる者を対象とする。調査書、推薦書、競技・演技実績証明書、課題レポート、小論文及び面接により基礎的な学力及び高等学校での学びや運動、芸術などの実績、考える力やコミュニケーション能力、体育・スポーツ界で活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ⑤学校推薦型選抜入試 指定校方式では、学校長の推薦が得られ、高等学校の調査書の評定平均が本学の指定する基準を満たした者を対象とする。調査書、推薦書、課題レポート、小論文及び面接により基礎的な学力及び高等学校での学びの実績、考える力やコミュニケーション能力、体育・スポーツ界で活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ⑥学校推薦型選抜入試 公募制入試では、学校長の推薦が得られる者を対象とする。調査書、推薦書、課題レポート、一般教養試験、面接により基礎的な学力及び高等学校での学びの実績、考える力やコミュニケーション能力、体育・スポーツ界で活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と学びへの意欲や適性を総合的に評価する。
- ⑦一般選抜入試 独自方式では、調査書、課題レポート及び学力試験により基礎的な学力及び高等学校での学びの実績、考える力やコミュニケーション能力、体育・スポーツ界で活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と学びへの意欲や適性を総合的に評価する。
- ⑧一般選抜入試 大学入学共通テスト利用方式では、大学入試センター試験での、国語・外国語・数学のうち、高得点の2科目をそれぞれ100点に換算をし、高等学校での学びの実績などを評価する。
- ⑨スポーツセカンドキャリア入試では、調査書、競技・演技実績証明書、課題レポート、小論文及び面接により基礎的な学力及びこれまでの学習や社会人としての活動の状況、競技力、考える力やコミュニケーション能力、体育・スポーツ界で活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と明確な志望動機、学びへの熱意や適性を総合的に評価する。

体育学部 健康科学科

体育学部・健康科学科では、ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーを踏まえ、下記の資質・能力を有する者を入学者として選抜します。

- (1) 現代の健康・医療における課題を設定し、他者と協働して学び、目標を達成しようとする意志を有している。
- (2) 健康科学、柔道整復学、スポーツ医科学の知識・技能を用いて社会に貢献する意志を有している。
- (3) 多様性・異文化を理解し、地球市民として交流する意志を有している。

以上のアドミッションポリシーに基づき、体育学部・健康科学科での学修に必要な学力や人間性などを多面的・総合的に評価するため、以下の選抜方法により入学者の選抜を行う。

- ①総合型選抜入試 自己推薦方式では、調査書、自己推薦書、課題レポート、自己PRスピーチ及び面接により基礎的な学力及びこれまでの学習や活動の状況、考える力やコミュニケーション能力、健康理想社会で活躍したいという意欲や姿勢、本学科のアドミッション・ポリシーの理解と明確な志望動機、学

びへの熱意や適性を総合的に評価する。

- ②総合型選抜入試 探究活動方式では、調査書、自己推薦書、課題レポート、プレゼンテーション又は絵本の読み聞かせ及び面接により基礎的な学力及びこれまでの学習や活動の状況、考える力やコミュニケーション能力、健康理想社会で活躍したいという意欲や姿勢、本学科のアドミッション・ポリシーの深い理解と明確な志望動機、学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ③総合型選抜入試 スポーツ・芸術方式では、高等学校の調査書の評定平均が3.0以上でかつ、運動・芸術のいずれかに特に優れ、その成果を客観的に証明できる者を対象とする。調査書、自己推薦書、競技・演技実績証明書、課題レポート、自己PRスピーチ及び面接により基礎的な学力及びこれまでの学習や活動の状況、考える力やコミュニケーション能力、健康理想社会で活躍したいという意欲や姿勢、本学科のアドミッション・ポリシーの理解と明確な志望動機、学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ④学校推薦型選抜入試 スポーツ・芸術方式では、学校長の推薦が得られ、高等学校の調査書の評定平均が3.0以上でかつ、運動・芸術のいずれかに優れ、その成果を客観的に証明できる者を対象とする。調査書、推薦書、競技・演技実績証明書、課題レポート、小論文及び面接により基礎的な学力及び高等学校での学びや運動、芸術などの実績、考える力やコミュニケーション能力、健康理想社会で活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ⑤学校推薦型選抜入試 指定校方式では、学校長の推薦が得られ、高等学校の調査書の評定平均が本学の指定する基準を満たした者を対象とする。調査書、推薦書、課題レポート、小論文及び面接により基礎的な学力及び高等学校での学びの実績、考える力やコミュニケーション能力、健康理想社会で活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ⑥学校推薦型選抜入試 公募制方式では、学校長の推薦が得られる者を対象とする。調査書、推薦書、課題レポート、一般教養試験、面接により基礎的な学力及び高等学校での学びの実績、考える力やコミュニケーション能力、健康理想社会で活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と学びへの意欲や適性を総合的に評価する。
- ⑦一般選抜入試 独自方式では、調査書等、課題レポート及び学力試験により基礎的な学力及び高等学校での学びの実績、考える力やコミュニケーション能力、健康理想社会で活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と学びへの意欲や適性を総合的に評価する。
- ⑧一般選抜入試 大学入学共通テスト利用方式では、大学入試センター試験での、国語・外国語・数学のうち、高得点の2科目をそれぞれ100点に換算をし、高等学校での学びの実績などを評価する。
- ⑨スポーツセカンドキャリア入試では、調査書、競技・演技実績証明書、課題レポート、小論文及び面接により基礎的な学力及びこれまでの学習や社会人としての活動の状況、競技力、考える力やコミュニケーション能力、健康理想社会で活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と明確な志望動機、学びへの熱意や適性を総合的に評価する。

《次世代教育学部の入学者受入れ方針》

次世代教育学部では、豊かな人間性、教育学・保育学・心理学・社会学などに関する専門的知識と実践力等を身に付けた教育者、保育者、国際人、指導者を養成することを目的にしている。

■入学前に身に付けておく能力

次世代教育学部カリキュラム・ポリシーに基づいた学びを通じて、① 優しさ・たくましさ・協調性など、豊かな人間性、② 日本及び他国の文化への関心とコミュニケーション能力、③ 一定レベルの学力と、幅広い教養と教育への関心、④ 専門的知識とそれを活かす実践力を身に付けて社会の発展に貢献しようとする明確な目的意識

■求める人材

- (1) 次世代の教育や現在社会の課題に強い関心をもっている人
- (2) 教育者に必要な専門知識とそれを活用できる教育実践力の修得を目指す人
- (3) 幅広い教養と子どもの発達や個性に応じた教育に関する専門的知識の修得に向かって努力する人
- (4) 豊かな人間性を培い、グローバル社会の新たな教育者として、国際的な視野での「コミュニケーション能力を磨き、思考力・判断力・表現力の修得を目指す人

■選抜の基本方針

こども発達学科、教育経営学科の選抜の基本方針を参照のこと。

次世代教育学部 こども発達学科

次世代教育学部・こども発達学科では、ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーを踏まえ、下記の資質・能力を有する者を入学者として選抜します。

- (1) 現代の保育教育における課題を設定し、他者と協働して学び、目標を達成しようとする意志を有している。
- (2) 保育者としての専門知識・技能を用いて社会に貢献する意志を有している。
- (3) 多様性・異文化を理解し、地球市民として交流する意志を有している。

以上のアドミッションポリシーに基づき、次世代教育学部・こども発達学科での学修に必要な学力や人間性などを多面的・総合的に評価するため、以下の選抜方法により入学者の選抜を行う。

- ①総合型選抜入試 自己推薦方式では、調査書、自己推薦書、課題レポート、自己 PR スピーチ及び面接により基礎的な学力及びこれまでの学習や活動の状況、考える力やコミュニケーション能力や豊かな表現力、保育者・教育者・指導者として活躍したいという意欲や姿勢、本学科のアドミッション・ポリシーの理解と明確な志望動機、学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ②総合型選抜入試 探究活動方式では、調査書、自己推薦書、課題レポート、プレゼンテーション又は絵本の読み聞かせ及び面接により基礎的な学力及びこれまでの学習や活動の状況、考える力やコミュニケーション能力、保育者・教育者・指導者として活躍したいという意欲や姿勢、本学科のアドミッション・ポリシーの理解と明確な志望動機、学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ③総合型選抜入試 スポーツ・芸術方式では、高等学校の調査書の評定平均が3.0以上でかつ、運動・芸術のいずれかに特に優れ、その成果を客観的に証明できる者を対象とする。調査書、自己推薦書、競技・演技実績証明書、課題レポート、小論文及び面接により基礎的な学力及びこれまでの学習や活動の状況、考える力やコミュニケーション能力、保育者・教育者・指導者として活躍したいという意欲や姿勢、本学科のアドミッション・ポリシーの理解と明確な志望動機、学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ④学校推薦型選抜入試 スポーツ・芸術方式では、学校長の推薦が得られ、高等学校の調査書の評定平均が3.0以上でかつ、運動・芸術のいずれかに優れ、その成果を客観的に証明できる者を対象とする。調査書、推薦書、競技・演技実績証明書、課題レポート、小論文及び面接により基礎的な学力及び高等学校での学びや運動、芸術などの実績、考える力やコミュニケーション能力、保育者・教育者・指導者として活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ⑤学校推薦型選抜入試 指定校方式では、学校長の推薦が得られ、高等学校の調査書の評定平均が本学の指定する基準を満たした者を対象とする。調査書、推薦書、課題レポート、小論文及び面接により基礎的な学力及び高等学校での学びの実績、考える力やコミュニケーション能力、保育者・教育者・指導者として活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と学びへの熱意や適性を総合的に評価する。

- ⑥学校推薦型選抜入試 公募制方式では、学校長の推薦が得られる者を対象とする。調査書、推薦書、課題レポート、一般教養試験及び面接により基礎的な学力及び高等学校での学びの実績、考える力やコミュニケーション能力、保育者・教育者・指導者として活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と学びへの意欲や適性を総合的に評価する。
- ⑦学校推薦型選抜入試 系列校特別方式では、本学と系列校の生徒で、学校長の推薦が得られ、高等学校の調査書の評定平均が3.5以上の者を対象とする。調査書、推薦書、課題レポート、高大接続プログラムの参加・評価及び面接により基礎的な学力及び高等学校での学びの実績、考える力やコミュニケーション能力、保育者・教育者・指導者として活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の深い理解と学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ⑧一般選抜入試 独自方式では、調査書、課題レポート及び学力試験により基礎的な学力及び高等学校での学びの実績、考える力やコミュニケーション能力、保育者・教育者・指導者として活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と学びへの意欲や適性を総合的に評価する。
- ⑩一般選抜入試 大学入学共通テスト利用方式では、大学入試センター試験での、国語・外国語・数学のうち、高得点の2科目をそれぞれ100点に換算をし、高等学校での学びの実績などを評価する。
- ⑪スポーツセカンドキャリア入試では、調査書、競技・演技実績証明書、課題レポート、小論文及び面接により基礎的な学力及びこれまでの学習や社会人としての活動の状況、競技力、考える力やコミュニケーション能力、健康理想社会で活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と明確な志望動機、学びへの熱意や適性を総合的に評価する。

次世代教育学部 教育経営学科

次世代教育学部・教育経営学科では、ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーを踏まえ、下記の資質・能力を有する者を入学者として選抜します。

- (1) 現代の教育における課題を設定し、他者と協働して学び、目標を達成しようとする意志を有している。
- (2) 初等・中等教育に関する専門知識・技能を用いて社会に貢献する意志を有している。
- (3) 多様性・異文化を理解し、地球市民として交流する意志を有している。

以上のアドミッションポリシーに基づき、次世代教育学部・教育経営学科での学修に必要な学力や人間性などを多面的・総合的に評価するため、以下の選抜方法により入学者の選抜を行う。

- ①総合型選抜入試 自己推薦方式では、調査書、自己推薦書、課題レポート、自己PRスピーチ及び面接により基礎的な学力及びこれまでの学習や活動の状況、考える力やコミュニケーション能力、教育現場で活躍したいという意欲や姿勢、本学科のアドミッション・ポリシーの理解と明確な志望動機、学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ②総合型選抜入試 探究活動方式では、調査書、自己推薦書、課題レポート、プレゼンテーション又は絵本の読み聞かせ及び面接により基礎的な学力及びこれまでの学習や活動の状況、考える力やコミュニケーション能力、教育現場で活躍したいという意欲や姿勢、本学科のアドミッション・ポリシーの深い理解と明確な志望動機、学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ③総合型選抜入試 スポーツ・芸術方式では、高等学校の調査書の評定平均が3.0以上でかつ、運動・芸術のいずれかに特に優れ、その成果を客観的に証明できる者を対象とする。調査書、自己推薦書、競技・演技実績証明書、課題レポート及び面接により基礎的な学力及びこれまでの学習や活動の状況、考える力やコミュニケーション能力、教育現場で活躍したいという意欲や姿勢、本学科のアドミッション・ポリシーの理解と明確な志望動機、学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ④学校推薦型選抜入試 スポーツ・芸術方式では、学校長の推薦が得られ、高等学校の調査書の評定平均が3.0以上でかつ、運動・芸術のいずれかに優れ、その成果を客観的に証明できる者を対象とする。調査書、推薦書、競技・演技実績証明書、課題レポート、小論文及び面接により基礎的な学力及び高等学校での学びや運動、芸術などの実績、考える力やコミュニケーション能力、学校現場で活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ⑤学校推薦型選抜入試 指定校方式では、学校長の推薦が得られ、高等学校の調査書の評定平均が本学の指定する基準を満たした者を対象とする。調査書、推薦書、課題レポート、小論文及び面接により基礎

的な学力及び高等学校での学びの実績、考える力やコミュニケーション能力、教育現場で活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と学びへの熱意や適性を総合的に評価する。

- ⑥学校推薦型選抜入試 公募制方式では、学校長の推薦が得られる者を対象とする。調査書、推薦書、課題レポート、一般教養試験及び面接により基礎的な学力及び高等学校での学びの実績、考える力やコミュニケーション能力、教育者として活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と学びへの意欲や適性を総合的に評価する。
- ⑦学校推薦型選抜 系列校特別方式では、本学の系列校の生徒で、本学の基準により成績が優秀と判断され、学校長の推薦が得られ、高等学校の調査書の評定平均が3.5以上の者を対象とする。調査書、推薦書、課題レポート、高大接続プログラムの参加・評価及び面接により基礎的な学力及び高等学校での学びの実績、考える力やコミュニケーション能力、教育現場で活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の深い理解と学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ⑧一般選抜入試 独自方式では、調査書、課題レポート、学力試験により基礎的な学力及び高等学校での学びの実績、考える力やコミュニケーション能力、教育者として活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と学びへの意欲や適性を総合的に評価する。
- ⑨一般選抜入試 大学入学共通テスト利用方式では、大学入試センター試験での、国語・外国語・数学のうち、高得点の2科目をそれぞれ100点に換算をし、高等学校での学びの実績などを評価する。
- ⑩スポーツセカンドキャリア入試では、調査書、競技・演技実績証明書、課題レポート、小論文及び面接によりこれまでの学習や社会人としての活動の状況、競技力、考える力やコミュニケーション能力、教育者として活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と学びへの意欲や適性を総合的に評価する。

〈経済経営学部の入学者受入れ方針〉

経済経営学部では、豊かな人間性、経済、経営に対する専門的知識と実践力等を身に付けた人材を養成することを目的にしている。

■入学後に身に付ける能力

経済経営学部では、豊かな人間性、経済、経営に対する専門的知識と実践力等を身に付けた人材を養成することを目的にしている。

■入学前に身に付けておく能力

経済経営学部カリキュラム・ポリシーに基づいた学びを通じて、①豊かな人間性・教養に基づく課題提案力、②コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力、③国際人としての自覚とアイデンティティーの涵養、④経済、経営に対する関心

■求める人材

- (1) 知識・技能を保有し、社会の出来事を把握し理解できる人
- (2) 努力して目標を達成した経験を持ち、自身の強みと弱み、価値を語れる人
- (3) 目的達成のために課題を解決し、採るべき方策を考え、自分の意見としてまとめることができる人。
- (4) 自分の考えを的確に表現し、客観的な分析に基づいて相手に伝え、説得できる人
- (5) 次のような関心、意欲、態度が備わっている人
 - ①主体的に学習に取り組みたいという意欲
 - ②経済、技術の動向や、企業活動への高い関心
 - ③ディスカッションを通じて自身及びチームメンバー全体の学習向上を図りたいという意欲
 - ④グローバルな環境に触れ、理解したいという意欲
- (6) 英語力の向上及び理数系科目も含む基本的な学習に高校等でも積極的に取り組み、同時に、文章の読解力、表現力向上を目指し、多くの読書を行っている人

■選抜の基本方針

現代経営学科の選抜の基本方針を参照のこと。

経済経営学部 現代経営学科

経済経営学部・現代経営学科では、ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーを踏まえ、下記の資質・能力を有する者を入学者として選抜します。

- (1) 現代の経済経営における課題を設定し、他者と協働して学び、目標を達成しようとする意志を有している。
- (2) 経済・経営に関する専門知識・技能を用いて社会に貢献する意志を有している。
- (3) 多様性・異文化を理解し、地球市民として交流する意志を有している。

以上のアドミッションポリシーに基づき、経済経営学部・現代経営学科での学修に必要な学力や人間性などを多面的・総合的に評価するため、以下の選抜方法により入学者の選抜を行う。

- ①総合型選抜入試 自己推薦方式では、調査書、自己推薦書、課題レポート、自己PRスピーチ及び面接により基礎的な学力及びこれまでの学習や活動の状況、考える力やコミュニケーション能力、企業、社会で活躍したいという意欲や姿勢、本学科のアドミッション・ポリシーの理解と明確な志望動機、学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ②総合型選抜入試 探究活動方式では、調査書、自己推薦書、課題レポート、プレゼンテーション又は絵本の読み聞かせ及び面接により基礎的な学力及びこれまでの学習や活動の状況、考える力やコミュニケーション能力、企業、社会で活躍したいという意欲や姿勢、本学科のアドミッション・ポリシーの深い理解と明確な志望動機、学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ③総合型選抜入試 スポーツ芸術方式では、高等学校の調査書の評定平均が3.0以上でかつ、運動・芸術のいずれかに特に優れ、その成果を客観的に証明できる者を対象とする。調査書、自己推薦書、競技・演技実績証明書、課題レポート、自己PRスピーチ及び面接により基礎的な学力及びこれまでの学習や活動の状況、考える力やコミュニケーション能力、企業、社会で活躍したいという意欲や姿勢、本学科のアドミッション・ポリシーの理解と明確な志望動機、学びへの熱意や適性を総合的に評価する。

- ⑤学校推薦型選抜入試 スポーツ・芸術方式では、学校長の推薦が得られ、高等学校の調査書の評定平均が3.0以上でかつ、運動・芸術のいずれかに優れ、その成果を客観的に証明できる者を対象とする。調査書、推薦書、競技・演技実績証明書、課題レポート、小論文及び面接により基礎的な学力及び高等学校での学びや運動、芸術などの実績、考える力やコミュニケーション能力、企業、社会で活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ⑥学校推薦型選抜入試 指定校方式では、学校長の推薦が得られ、高等学校の調査書の評定平均が本学の指定する基準を満たした者を対象とする。調査書、推薦書、課題レポート、小論文及び面接により基礎的な学力及び高等学校での学びの実績、考える力やコミュニケーション能力、企業、社会で活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ⑥学校推薦型選抜入試 系列校入試では、本学と系列校の生徒で、学校長の推薦が得られ、高等学校の調査書の評定平均が3.5以上の者を対象とする。調査書、小論文及び面接により高等学校での学びの実績、考える力やコミュニケーション能力、企業、社会で活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の深い理解と学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ⑦学校推薦型選抜入試 公募制方式では、学校長の推薦が得られる者を対象とする。調査書、推薦書、課題レポート、一般教養試験及び面接により基礎的な学力及び高等学校での学びの実績、考える力やコミュニケーション能力、企業、社会で活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と学びへの意欲や適性を総合的に評価する。
- ⑧学校推薦型選抜入試 系列校特別入試では、本学の系列校の生徒で、本学の基準により成績が優秀と判断され、学校長の推薦が得られ、高等学校の調査書の評定平均が3.5以上の者を対象とする。調査書、推薦書、課題レポート、高大接続プログラムの参加・評価及び面接により基礎的な学力及び高等学校での学びの実績、考える力やコミュニケーション能力、企業、社会で活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の深い理解と学びへの熱意や適性を総合的に評価する。
- ⑨一般選抜入試 独自方式では、調査書、課題レポート及び学力試験により基礎的な学力及び高等学校での学びの実績、考える力やコミュニケーション能力、企業、社会で活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と学びへの意欲や適性を総合的に評価する。
- ⑩一般選抜入試 大学入学共通テスト利用方式では、大学入試センター試験での、国語・外国語・数学のうち、高得点の2科目をそれぞれ100点に換算をし、高等学校での学びの実績などを評価する。
- ⑪スポーツセカンドキャリア入試では、調査書、競技・演技実績証明書、課題レポート、小論文及び面接によりこれまでの学習や社会人としての活動の状況、競技力、考える力やコミュニケーション能力、教育者として活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と学びへの意欲や適性を総合的に評価する。
- ⑫外国人留学生入試では、日本語能力試験N3程度以上の者を対象とする。日本語試験と面接により、日本語能力や異文化理解の精神、考える力やコミュニケーション能力、企業、社会で活躍したいという意欲や姿勢、本学科の特性の理解と学びへの意欲や適性を総合的に評価する。

[2023年5月1日現在]